

## 令和2年度 「学校関係者評価」 評価票

A. 大変よい      B. よい      C. 改善が必要      D. 大きな課題がある

「評価項目」及び「内部評価」	「学校関係者評価及びコメント」
<b>1 学習指導 【 B 】</b>	A <b>( B )</b> C      D
・家庭学習習慣の定着と予習して授業に臨む姿勢の育成      B ・授業における主体的、対話的で深い学びができる場面づくりの推進      B ・生徒の学習到達度を把握する取組の工夫と改善      B	予習・復習を心がけている生徒の割合が前年度と比較して 10.5 %、また、授業の内容や進み方について前年度と比較して 9 %増加したことは、着実な授業改善の成果が出ていると評価できる。引き続き、相互の授業参観等により、授業力向上に繋げてもらいたい。一方、この2点は 80 %をキープして欲しい。
<b>2 生徒指導 【 B 】</b>	( A )      B      C      D
・規律・責任感・協働の意識の醸成      A ・みんなで取り組むあいさつ・服装・頭髪指導      B ・生徒が主体的に企画・運営する学校行事の充実      A	挨拶も良くでき遅刻等も少なく、節度を持った生活ができているとの評価が見られ、多様化の中でも目的意識を持って学校生活を送れている表れだと感じる。併せて「津田沼GP自己評価3年生企画力・実践力」が前年度比 13.1 %増はループリック評価であり注目に値する。要因分析を丁寧に行ってもらいたい。
<b>3 キャリア教育・進路指導 【 B 】</b>	A      ( B )      C      D
・将来的な展望に基づいて進路を選択させる指導の充実      B ・教科・学年・進路指導部が連携した指導体制の強化      B ・進路目標の達成に向けて熱心に学習に取り組める環境づくり      B	自己評価にある通り、やるべきことはやれていることが見て取れる。生徒が必要とする情報の提供態勢を整えて行って欲しい。一方、記述の「意見・要望」で進路関係に関して様々な意見があり進路指導の難しさを感じる。本来であれば、高校生の進路は、自ら選択し情報の収集をすべきものではないかとも感じる。
<b>4 信頼される学校づくり 【 B 】</b>	A      ( B )      C      D
・様々な手段を活用した広報活動の充実      B ・地域貢献や地域の小中学校等との交流の推進      C	保護者からの学校評価の回収率が9割を超えているのは評価できる。今年度は、コロナ禍で具体的な活動に制限があり地域交流ができなかった。また、HPの活用については、保護者の「意見・要望」に多数の記載があるので、対応可能なものを精査して欲しい。
<b>5 安全・安心な学校づくりの推進 【 B 】</b>	A      ( B )      C      D
・安全な学習環境の維持と防災・安全の推進      B ・自らを大切にし他者を尊重する態度の育成      C ・生徒と職員が対話のできる場の充実      B	職員の生徒と向き合う時間の確保という点で、6割の評価が気になるが、職員の意識が高く生徒たちのことを大切に考えていることが反映していると感じる。また、スクアードストレートが実施されたことは評価できる。安心・安全の担保はすべての学校教育活動の要である。引き続き、防災・安全教育を推進していただきたい。
(総合所見) 津田沼高校GP実現のための重点目標の5つが分かりやすく、取組が見えてくる。生徒、保護者の学校評価からも高校生活が充実している様子が見て取れる。津田沼高等学校は、生徒、保護者、中学校及び地域に求められ愛されている学校であることが分かる。この度の評価を、学校教育活動への期待の表明として前向きに捉え、より良い学校づくりのため、引き続き尽力していただきたい。総合的な探究の時間について、職員からの意見があったが、教科横断的なカリキュラム・マネジメントとしての位置付けが求められており、今後の教育計画に期待したい。	